

小学校の学習支援『川学習の出前講座』

実施校 上越市立春日新田小学校

学年・人数 4年生・57名

実施日 令和3年10月13日（水）

上越市立春日新田小学校において 出前講座「川の防災学習」を実施しました。

防災教育の専門家である上越教育大学大学院 山縣教授の協力のもと、上越市立春日新田小学校4年生（2組 計57名）を対象に、出前講座「川の防災学習」を実施しました。本講座は全3回の内容からなり、第1回は災害・防災に関する基礎学習、第2回は散策しながら水害時の危険箇所を学ぶ現地学習、第3回は学校の周りの危険箇所・安全箇所を調べる自己学習を行います。今回は、第1回目の講座を行いました。今後、第2回講座を10月22日、第3回講座を11月4日に実施する予定です。

【山縣耕太郎教授 プロフィール】

所属：上越教育大学大学院学校教育研究科社会系教育講座教授
専門は自然地理学（島弧火山発達史、第四紀環境変遷史など）。
上越教育大学が主催する出前講座では、「地域の災害を想定する」をテーマに防災教育を行っている。

● 実施概要

○第1回 テーマ「川の防災に関する基礎学習」

日時：令和3年10月13日（水）

1限 8:40～9:25、2限 9:30～10:15

場所：春日新田小学校 各教室

参加者：春日新田小学校 4年生1組、2組 57名

- 内容：1) 災害の種類 ～上越市ではどのような災害が起きるのだろう～
2) 上越市の過去の水害
3) 洪水が起こる理由 ～なぜ関川では洪水が起きるのだろう～
4) 洪水を防ぐために ～どうすれば洪水の被害を防ぐことができるのだろう～



4年1組の講座風景



4年2組の講座風景

小学校の学習支援『川学習の出前講座』

実施校 上越市立春日新田小学校

学年・人数
実施日

4年生・57名
令和3年10月13日（水）

● 出前講座の様子



災害の種類

災害の種類を皆さんにあげてもらい、その内容について説明しました。



上越市で起こる災害

災害の種類の中で、上越市で起こりやすい洪水について説明しました。



上越市の過去の水害

上越市は7.11水害をはじめ、何度も水害を受けてきたことを写真を用いて説明し、洪水が身近な災害であることを伝えました。



関川で洪水が起こる理由① ～上越市の降水量～

スケールを使って、主な都市の年間降水量を比較し、上越市はたくさんの雨が降ることを説明しました。



降水量の比較スケールの作成

降水量の比較スケールは児童に作ってもらいました。写真は、各都市の年間降水量のシールをスケールに貼っている様子です。



関川で洪水が起こる理由② ～関川の集水域～

上越市は周りを山に囲まれ、広範囲に降った雨が関川に集まりやすいことを説明しました。



関川で洪水が起こる理由③ ～関川の勾配～

関川は日本の河川のなかでは急勾配であり、多くの水が勢いよく流れるために、洪水が起こりやすいことを説明しました。



高田平野の成り立ち

関川の流れる高田平野のなりたちを、模型を使って説明しました。高田平野は、洪水が運んだ土砂によって作られ、元々洪水が起きやすい土地であることを学びました。



児童の様子

皆さん、山縣先生の話真剣に聞き、大切なことはメモしていました。